

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

## グループワーク 1 B班

(F) 私がファシリテーターに当たってしまいました。

まず、意見を書き出します。3分程度を区切って、各自が意見を付箋に書き、手元にストックしておいてください。これは、キーワード的なものをここに書いていただいて、それについて各自話をさせていただく、ということによろしいでしょうか？ では、キーワードを書いて、3分というのは、

(サブ F) これ(砂時計)が1分です。

(F) とりあえず2分で、キーワードを書くくらいならたいしたことではないかと思うので、勝手に進めてしまいますが、今からキーワードを書いてください。3つくらいはあるのかな。

(サブ F) そうですね。

(記入中)

(サブ F) そろそろです。

(F) 終わりです。皆さん、よろしいですか。

それでは、時計回りで、とりあえず1人1つずつ出して、ぐるぐる回しましょうか。では、こちらからお願いします。

—— はい。テーマを提案するという形だと思うのですがけれども、ええと、原子カムラは何だろう、ひとえに、原子力発電でエネルギーを生み出すという意味での〔エネルギー問題〕だと思います。

—— 事故のせいで、放射線・放射能漏れとか、放射線・放射性物質が散らばったとか、いろいろあると思うのですがけれども、まず、一般の方々が、放射線や原子力がどのくらい身近にあるのかということを理解しているのか、がムラにつながっているのではないかと思います。以上です。

—— 原子カムラというのは、要するに〔専門家集団〕なのですね。集団それ自体は問題なくて、例えば物理学会とか、化学学会とか、いろいろな学会がありますよね。やはり専門家集団で、ある程度閉鎖性がある。ただ、その閉鎖性に対して、どのように外部に発信するのか。それが少し不足していて、原子カムラができたのではないかと思います。

(F) では、次の方。

—— はい。私は、言葉自体から受けるイメージとしては、マイナスのイメージとして使われているのかなという気がしたので、〔マイナスのイメージ〕と書きました。

(F) では、次の方、お願いします。

—— はい。私たち一般市民が、〔推進派の集団〕を呼ぶときに、そういった用語を使うのかな、というイメージです。

(F) 私は、最初から個人名を出してしまいましたが、原子カムラは〔田中知〕さんです。主催団体の代表をされていますが。なぜこれを出したかという、規制委員会の委員の交代が行なわれますが、一言で言わせていただければ、犯罪者が警察をやるようなもの、というのが私の認識です。以上です。

—— では、2 個目です。先ほどのお二方の意見が、

(サブ F) あ、上のほうに貼ってください。

—— どう置けばいいのですか？

(サブ F) この線は越えないように、上のほうに貼っていただけますか。

—— 専門家と市民の間に〔知識の格差〕があるのではないかと思います。

(F) では、次の方。

—— はい。専門家が話されていることは、私たち一般市民は全てを理解できるわけではないし、放射線など、やはり目に見えないものが中にはあるじゃないですか。だから、〔目に見えないものをどう捉えるか〕と書きました。

(F) はい。では、次の方。

—— はい。先ほどの続きなのですけれども、[マイナスのイメージ] や [推進派の集団]、その他いろいろな意見に対して、外部に対するアカウンタビリティーがなかった。不足している。

(サブ F) アカウンタビリティーというのは、どういう意味ですか？

—— 説明責任です。それが不足していた。なので、マイナスイメージになったのではないかと思います。

(サブ F) ああ、説明責任が果たされていなかったから、マイナスイメージということですね。

—— ちょっと私自身も、内部の、内部というか、感じたところがあったもので。

(サブ F) こういうことでいいですか？ (付箋の確認)

—— はい。

(F) よろしいですか。では、次の方。

—— (原子カムラという言葉) 自分が使うときは良いイメージで、他人から使われるときは悪いイメージかなと思っています。

「原子カムラ」といったときに、パッと私がイメージしてしまうのは、例えば、自治体が原子力をやろうとしている事業者に無理難題を言って、「これをクリアしないと原子力に協力してやらないぞ」みたいな。「原子力はイメージが悪いのだから、私たちの言うことを聞かないと、許可してあげないよ」という、地元や立地自治体のごく一部の人たち、というイメージがあるのですけれども。原子力学会とかそういうもの自体を悪いというふうに捉えているのが一般的なのだろうなと思いつつも、他人が使うときは、だいたい原子カムラは悪いイメージで使われていると思います。

逆に、自分たちが使うときはどういうときかというと、やっている人が少ないので、どうしても専門的になってしまい、同じような人に会ってしまうということがあるので、そういう小集団ができてしまうという意味で、ムラがあるのかなという気がしています。

(F) では、次の方、お願いします。

—— 「ムラ」がカタカナになっていたりして、用語のイメージがあまりよくないです。先ほど〔推進派の集団〕と書きましたけれども、逆に、反対している人たちからすると、〔差別用語〕的な形で使われているのかなと思います。

—— 質問してもよろしいですか？ 差別用語というのは、誰から誰に対するものですか？

—— 例えば、反対派が、推進している方に対して、その集団をそういう呼び方をして差別しているようなイメージです。

—— 分かりました。

(F) では、次は私のほうから。次は、〔利益共同体〕です。学者の方も、それから企業の方も、それぞれ自分の専門分野の中で、特に原子力の予算というのは国家予算の中で広く使われてきました。必ずしも本人が自覚していない場合もあるし、逆に、かなり自覚しながら多用されている方もいるかと思えますけれども、いずれにしろ、組織としての利益共同体ではなく、広い意味での利益共同体だと考えています。

—— 安全性ですね。3.11以降、原発に対して感じられた不安を覚えていると思うのですが、そういったところは、なんて言ったらいいのでしょうか、そういうふうな部分が見受けられるのではないかと思います。

(サブF) ええと、安全性の、

—— まあ、〔安全性に対しての疑問〕ですね。

(サブF) ありがとうございます。

(F) よろしいですか。では、次の方、お願いします。

—— 〔知識の格差〕と関係があると思うのですが、専門家の方々が、一般の方向けに、メディア、あるいは論文などで発表される機会があると思います。それを一般の方々が正しく理解している可能性もゼロではないわけじゃないですか。なので、知識の格差ということで、〔知っていることと知らないこと〕をちゃんと明確にすべきではないかと思えます。

(サブ F) 「明確にすべき」ということですね？

(F) よろしいですか。では、次の方、お願いします。

—— その〔知っていることと知らないこと〕の例になるのですけれども、一昔前までは、医学界は象牙の塔と言われていました。非常に閉鎖社会だったのです。ところが、いつだったかは忘れましたけれども、ある時期から医学の先生方が、先ほどの説明責任をかなり導入されたのです。それ以降、医学の世界ではかなり閉鎖性が薄れてきたと一般的に言われているのですね。だから、医学の世界は参考になるというか。元々医学の世界は、「医者ムラ」とは言われていなかったのですけれども、かなりの閉鎖社会でした。

(F) では、そちらの方、お願いします。

—— 〔知識の格差〕に近いと思うのですが、専門的過ぎて、内容が〔マニアック〕なので、その人たち以外には分からないのではないかと。それは、おそらく、今そちらの方がおっしゃったように、医療分野もそうだし、どんな分野でも同じことが言えると思います。例えば、ゲーマーの人たちの言っている言葉が分からないことが私にはいっぱいあるし。他の人たちの言っていることは分からない。それぞれ（専門分野を）突き詰めていくと、専門性が高くなりすぎるので、分からないことが出てきて、それが際立っているのかな、と思いました。

(総合 F) あと 15 分です。4 番に行ってください。

(F) では、私から。〔自らでは戻れない〕。これはどういうことかという、今まで原子力については国家予算がついていて、核燃料サイクルとか、例えばもんじゅという高速増殖炉がありますが、あれは 1 日に 5500 万円使って、もう 20 年間も使っているのです。そのような事業は、自ら戻ることがもうできなくなっている。原子力発電所も、コスト的には民間事業では成り立たないはずなのに、もう自らの力では戻れなくなっている。事業体全てがそうだと思います。これは別に原子力に限った話ではないのですけれども、そういう意味が非常にあると思います。以上です。

まだご意見を発せきっていない方はいますか？ よろしいですか？

—— 先ほどの〔マニアック〕と似たようなところで、〔仲間うち〕でやっているとかつ、〔小さな集団〕ではないかなと思います。

で、この付箋は、先ほどサブファシリテーターさんを書いていただいたのですけれども、

「一部が」というよりは、立地自治体が、ええと、なんて言ったらいいのでしょうか…。

(サブ F) 書き直していただけますか。

—— この付箋は、私が先ほど言ったイメージを書いてくださったのですよね？

(サブ F) そうです。意味が違っていましたか？

—— ええと、時代劇に出てくる、「悪代官が搾取する」みたいなイメージがあるのです。搾取される側が原子力事業者のほうで、結構無茶なことを言われながらも、一生懸命頑張っているのですけれども、結局認めてもらえない。いろいろな報道を見ていると、そういうイメージがあつて。

このあいだ新聞で見た記事だと、ずっと反対と言っていた自治体の人たちがいたのですが、「じゃあ原発をやめます」という意見がその中で出た途端に、「いや、やっぱり原発はやってもらわないと困る」とその首長さんが言った、と書かれていて、非常に衝撃的だったのですね。もしかして、バーターがあつたから反対とずっと言っていたけれども、本当は反対、反対と言いながらも、原発があつてくれないと困っていたのかな、というのがあつて、私の中では衝撃的なニュースでした。

(サブ F) 自治体のほうが強い、ということですか？

—— 実際と、主張していることが違う、裏取引があるとか、そういうイメージですか？

—— それが一部であるのかなと。よく分からないのですけれども。そのニュースを見て、もしかしたらそういうことがあるのかなと思って。それを言いたかったのですけれども、すみません、うまく言葉で表せなくて。

(サブ F) こういう感じですか？ (付箋を確認)

—— あ、そんな感じです。

(サブ F) では、そろそろグルーピングに移ってください。

(F) ええと、時間もありますので、いろいろここへ貼っていただいたのですが、これについてグルーピングをしたいと思います。どうしたらいいですかね？ 私はこういうのは苦手なのだけれども。

(サブ F) (模造紙の) 向きを変えますか？

(F) いや、向きはこのままでもいいのですけれども。

ええと、グループとしては、なんか、「人の問題」があるのではないかと思うのですね。原子カムラというのは人でもって動いていると。

あとは、技術的な話。組織とか。

それから、[マニアック] というのは、人の問題だけど、技術の問題でもあるとか。

[安全性に対するの疑問] は、人の問題かな。

(サブ F) 「人の問題」と「技術の問題」ですね？

(F) えっと、「人の問題」と「技術の問題」と。あとはどうでしょうか？ 「その他」くらいかな。

「人」というのは、組織としての人ですね。そういう考え方の問題ということで考える。

というふうに思いますけれども、ファシリテーターが意見を言っはいけないのでしょうが、皆さん、他に何かありますか？

—— そうですね、組織問題として、原子カムラ、あるいはムラ社会というのは、相手のことを理解しようとしな、というケースが多いですよ。理解しようとしていけば、原子カムラとかは出てこないはずですよ。

実は私自身も、核融合をずっとやっていたので、原子力発電推進派の人から、「核融合部落」の人間だと言われたことがあるのですよ。予算のぶんどり合いがあるときに、

(サブ F) 「相手を理解しようとしな」というキーワードですね？

—— ええ。

(サブ F) これは「人の問題」ですか？

—— ええ。

で、そういうときに、原子カムラという言葉を使って、手っ取り早く表現すると。

(F) グループ分けに関して、他にご意見はありますか？ どういうグループ分けにしたらいいか。

—— 枠をいくつ作るかとか、そのグループの名前ですか？

(F) いくつ作るかは別に考えなくてもいいと思うのですけれども、もうひとつこういう枠組みがあるよね、というのがあれば、言っていたきたい。

(サブ F) グループ分けみたいな感じです。今は、「人の問題」と「技術の問題」という分け方になっています。

(F) もうひとつの考え方は、この中でものさしがあって、「技術の問題」に近い意見と、中間的な問題と、「人の問題」に近い意見、というふうに分けることはできる。そうするとすっきりするかもしれないな、というのが私の意見です。

(サブ F) 皆さんはどうですか？

—— そうですね。ベクトルを何かしら決めないと。

(F) では、そういうことで、この中でベクトルを決めていってみましようか。

「人の問題」はどうでしょうか？ ええと、〔エネルギー問題〕や〔安全性に対しての疑問〕は、たぶん「技術の問題」ですよ。〔専門的すぎてよく分からない〕はこの辺でしょうか？ 〔マニアック〕は？

—— 真ん中でしょうか。

—— 「人の問題」ではないかと思います。

—— 〔知っていることと知らないこと〕も「人の問題」ですよ。

(F) 〔原子力（放射線）はどれくらい身近にあるか？〕というのは、どういう意味でお話しされたんですか？

—— ええと、放射線は医療で使われていたり、原子力もまさに発電に使われているわけですから、知らないだけで欠かせない存在になっているわけじゃないですか。それをどれくらい理解しているというか、うーん、どれくらい自分たちの生活に関わっているかを理解、ちゃんと知っているかどうか、という意見ですけれども。

—— そうすると、

(F) どちらかというと、「技術の問題」ですね。

—— 知識がちゃんとあるかどうかという意見ですね。

—— そうすると「人の問題」なのでは？

(F) いや、「人」というか、これは、

—— 確かに、「人の問題」もあると思います。

—— 感情が、知識があるかどうかによって影響を受けている、ということですか？ 分かればどちらかになるかもしれないけれども、そこがよく分からないから揺れているのではないか、ということですか？

—— そうですね。知識がないということもそうですし、

—— 「どれくらい身近にあるか？」。なんか、この文言だけを見ると、数値的な問題のような気がしますけれども。

(総合 F) 進行の連絡です。あと 5 分です。5 番に入ってください。

15 時 10 分からグループワーク 2 に入りますので、早く終わったところは休憩してください。

(F) では、一応発言者に確認して貼った、ということで、予定通り終わっているということでしょうか？

—— (今おっしゃったことを) 付箋に補足を書いてもらえれば。そうしたら分かりやすいと思います。

—— あ、そうですね。

(サブ F) グループに入らないものがあるということはありませんか？

この意見は「人の問題」なのですか？

(F) 「人の問題」でいいのではないですか。

(サブ F) では、「人の問題」のほうに貼りましょうか。

(F) グループ分けもなかなか難しいですね。

(サブ F) 「小さな集団」や「マニアック」はどちらですか？

—— 「マニアック」は「技術の問題」です。

「小さな集団」というのは、組織として、技術的なところに引きずられて小集団になってしまっているということです。

(サブ F) 「自らでは戻れない」はここでいいですか？

—— これは組織論ですね。

(F) それは組織の問題ですよ。

(サブ F) ああ。「組織」というグループ名も書きますか？

(F) いや、それは書かなくていいですよ。

(サブ F) どうしますか？

(F) あまり細かく分けても仕方がないので。「中間」でいいんじゃないですか。

—— イコール組織ということで。

(サブ F) 「イコール組織」と書きますか？

—— まあ、組織を含めて、ということで。

(F) そうしたら、この辺の意見はもう少しこちら側かもしれないですね。

—— 「組織」と書いておいたほうがいいと思います。メンバーが変わってしまうわけですから。

—— ああ、そうか。入れ替えがあるのか。

(サブ F) 少し漠然としていますよね。では、「組織」と書いておきますね。「組織の問題」。

—— この意見も「組織の問題」ではないですか？

(F) ああ、いいですよ。

—— いや、ファシリテーターさんはどういう意図でこの意見を出されたのですか？

(F) いや、これは組織の問題ですよ。まあ、当然同意を求められたのでしょうけれども、決めたのは国会というか、自民党でしょうから。あ、経産省でしょうけどね。

(サブ F) こういうふうになると、問題が絞られていいですね。分かりやすいですよ。

(F) では、こういう形でよろしいでしょうか？

(サブ F) グループワーク 2 では、宿主さんが説明しなければなりません。

(F) 宿主さんはどなたですか？

—— 私です。

(F) よろしくお願ひします。

—— あ、では、私のこの意見について、もう少し言ひましようか。

原子力の利用の問題で、どれだけ身近にあるか、ということをお話したのですけれども。利用となると、一般の方も使っているし、専門家の方々も、こういうふうに使えば便利だとかがきつとあるじゃないですか。例えば、原子力の利用は発電がある。放射線の場合、放射線医療とか、エックス線 CT とか、いろいろあるじゃないですか。例えば、健康診断でエックス線 CT を撮られたことはありますか？ 実はエックス線も放射線を使ったものであるとか、そういうことをちゃんと分かっているのか、ということをお言ひたいのですね。

(サブ F) そうすると、それはどのグループになりますか？

—— 知識。

(サブ F) では、こちらにします。

(F) 今の話に一言言いたいことがあるのですが。原子力と言った場合は、私は、基本的には核分裂を伴うもので、放射線の利用と原子力の利用は違うと思っています。やはり原子力の利用についての集団が問題であって。まあ、原子力というのは核融合も含めてですけども。もちろん医療被ばくにも大きな問題があると思っていますけれども、少し種類が違う。原子力カプセルといった場合には、医療被ばくの話は入れなくてもいいのではないかと考えています。

(サブ F) 今のご意見は、ここに加えてもいいでしょうか？

(F) はい。

—— ちょっと反論してよろしいですか？ 原子力発電と核融合というのは、実は水と油なのです。どうしてかという、開発をするにはある程度予算が必要になります。核融合と核分裂は、常にお互いに予算のぶんどりあいをしているのです。

(総合 F) 申し訳ありませんが、休憩の時間を少し詰める予定で進めております。15 時 10 分からグループワーク 2 に入りますので、話し合いが一段落した班は、休憩をして、席に戻ってきてください。

(F) ああ、拮抗しているわけですね。

—— はい。ところが、核融合は足が長いものですから、これから 50 年、100 年先の話になります。ただ、核分裂を否定するわけではないのですけれども。

(サブ F) グループ分けは、グラデーションではなく、線で区切っていただけませんか。

(F) グラデーションではいけないのですか？ では、私の一存で決めていいですか？

(サブ F) 皆さんで考えてください。どうぞ、集まって。

(F) ええと、この辺でしょうか。いいですか？ この意見は境目くらいかな。

(サブ F) 境目は困ります。どちらかに分けてください。

—— どうしても小分けしなければならないのですか？

(F) では、ここにしましょう。うーん、分けなければいけないというのもどうかと思うけれども。

これはこちらですね。〔仲間うち〕は組織ですね。

(総合 F) それでは、グループワーク 1 をまとめてください。そして、休憩をして戻ってきたら、宿主さん以外は、グループワーク 2 の席に移ってください。

(F) これでいいですか？

〔目に見えないものをどうとらえるか？〕はどこにすればいいか分からないですね。「技術の問題」じゃないですか？ 違いますか？

—— 「人の問題」もあると思います。一般の方から見た。

(F) では、とりあえず真ん中に置きます。「中間の問題」ですね。「組織の問題」とは言えないけれども、中間の問題だと。

これでいいですか？

—— 〔マイナスのイメージ〕は「技術の問題」ですか？ 原子カムラという言葉は漠然と悪い意味に使われているのだろうな、という意見なのですが。

(F) そうすると「組織の問題」ですか？

—— 「組織の問題」ですね。

(サブ F) 話の流れとしてはどうでしょうか。

(F) 「技術の問題」と「人の問題」があると。あとはその間に、「中間の問題」と「組織の問題」があると。組織には組み込めないような意見もあるけれども、中間的な問題としてまとめると。こういう形でよろしいですか？

—— 〔専門家の小集団〕は、技術的な面で考えて、良いイメージなものだと思います。

(F) ええと、組織の問題ではなくて、技術の問題としての良いイメージということですか？

ね。

はい、結構ではないでしょうか。

<グループワーク 1 終了>